

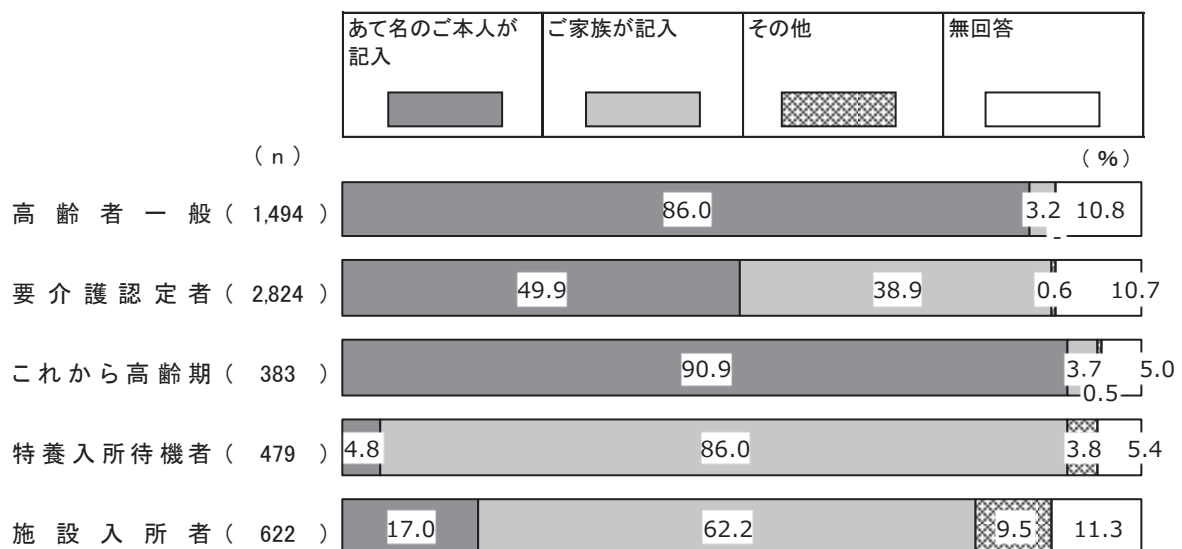
I-2. 調査結果の詳細

1 回答者の基本属性

(1) 調査票の記入者

- 調査票の記入者は、高齢者一般、これから高齢期ともに「あて名のご本人が記入」が最も高く、高齢者一般が86.0%、これから高齢期が90.9%と約8割半ば～9割を占めている。
- 要介護認定者では、「あて名のご本人が記入」が49.9%で最も高く、次いで「ご家族が記入」が38.9%で続いている。
- 特養入所待機者、施設入所者では、「ご家族が記入」が最も高く、特養入所待機者が86.0%、施設入所者が62.2%となっている。

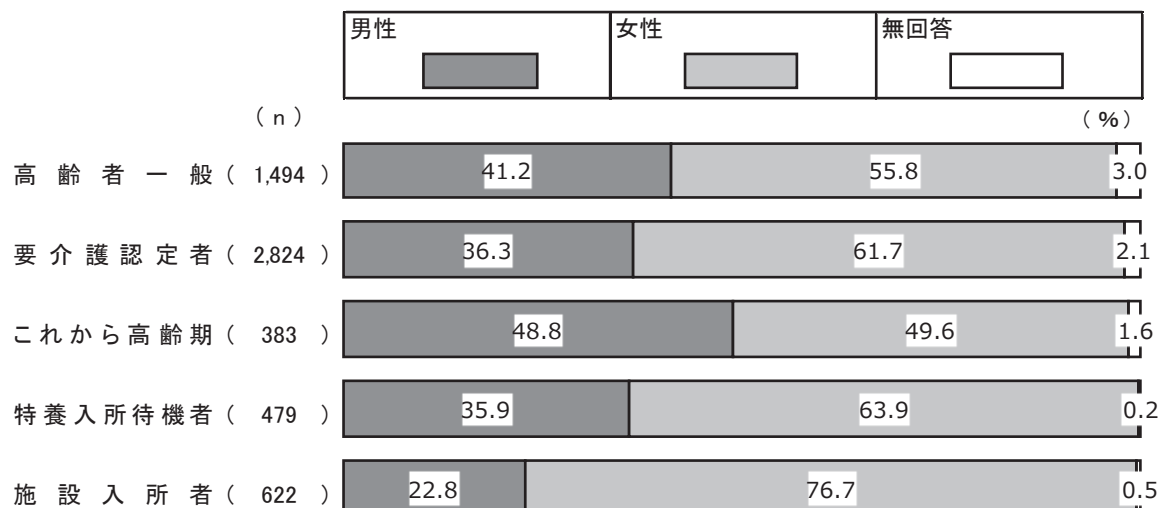
■調査票の記入者



(2) 性別

- 高齢者一般では、「男性」が41.2%、「女性」が55.8%、これから高齢期では、「男性」が48.8%、「女性」が49.6%となっている。
- 要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者では、「女性」の割合が高く、それぞれ約6～7割半ばとなっている。

■性別



(3) 年齢

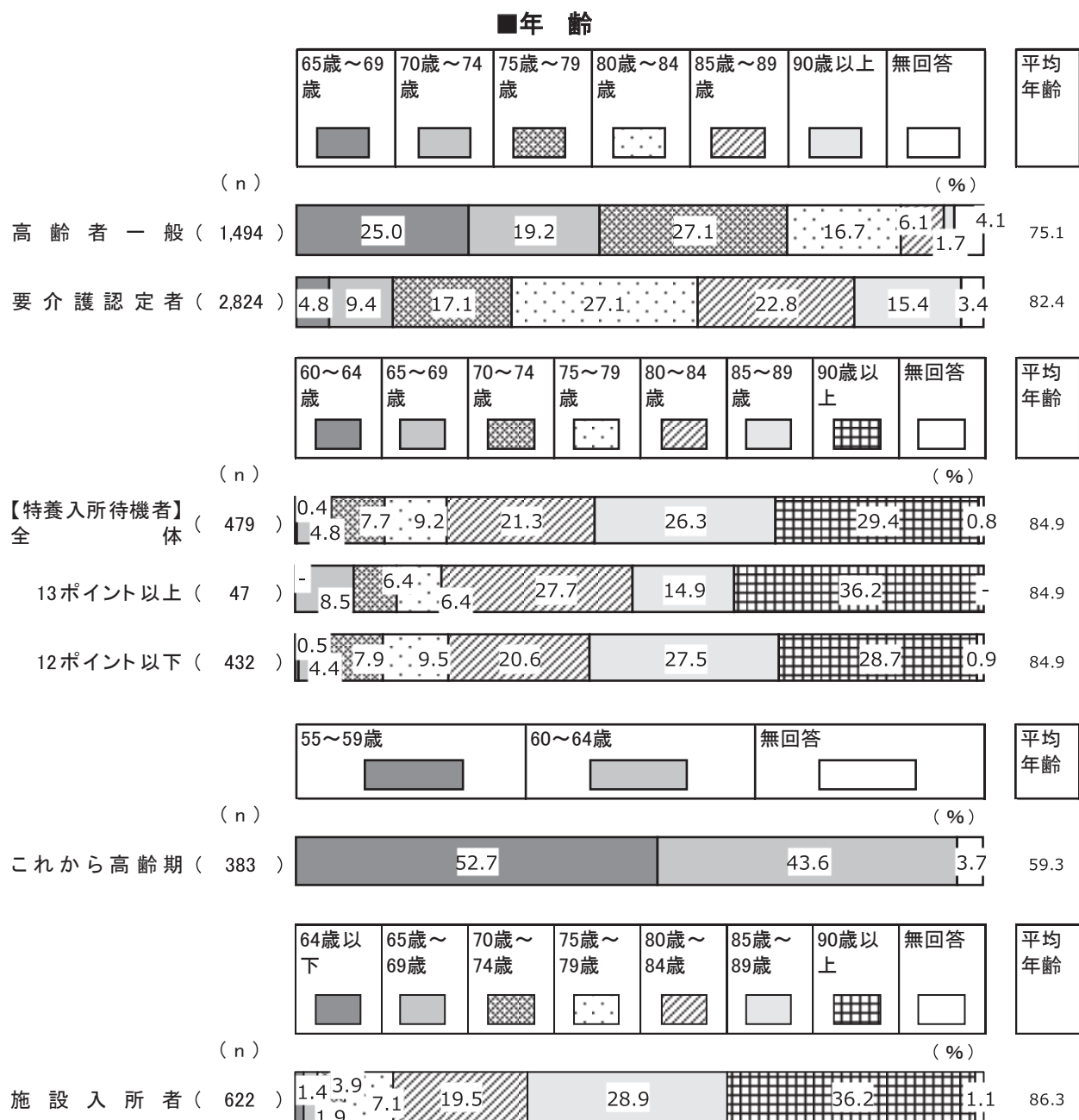
○高齢者一般では「75～79歳」が最も高く27.1%で、平均年齢は75.1歳である。

○要介護認定者では「80～84歳」が最も高く27.1%で、平均年齢は82.4歳である。

○特養入所待機者では「90歳以上」が最も高く29.4%で、平均年齢は84.9歳である。

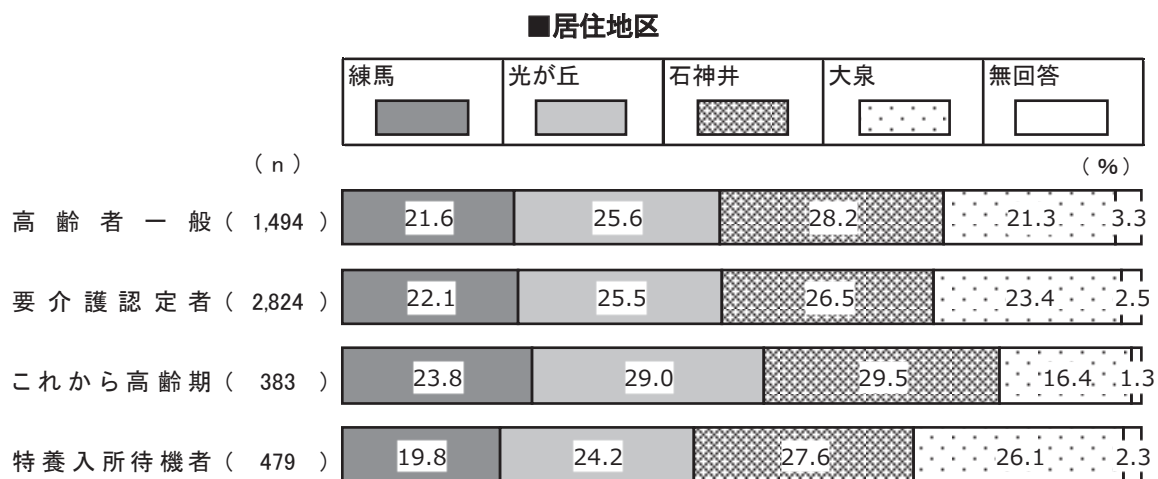
○これから高齢期では、「55～59歳」が52.7%、「60～64歳」が43.6%で、平均年齢は59.3歳である。

○施設入所者は、「90歳以上」が最も高く36.2%で、平均年齢は86.3歳である。



(4) 居住地区

- 高齢者一般では、「練馬」が21.6%、「光が丘」が25.6%、「石神井」が28.2%、「大泉」が21.3%となっている。
- 要介護認定者では、「練馬」が22.1%、「光が丘」が25.5%、「石神井」が26.5%、「大泉」が23.4%となっている。
- これから高齢期では、「練馬」が23.8%、「光が丘」が29.0%、「石神井」が29.5%、「大泉」が16.4%となっている。
- 特養入所待機者では、「練馬」が19.8%、「光が丘」が24.2%、「石神井」が27.6%、「大泉」が26.1%となっている。

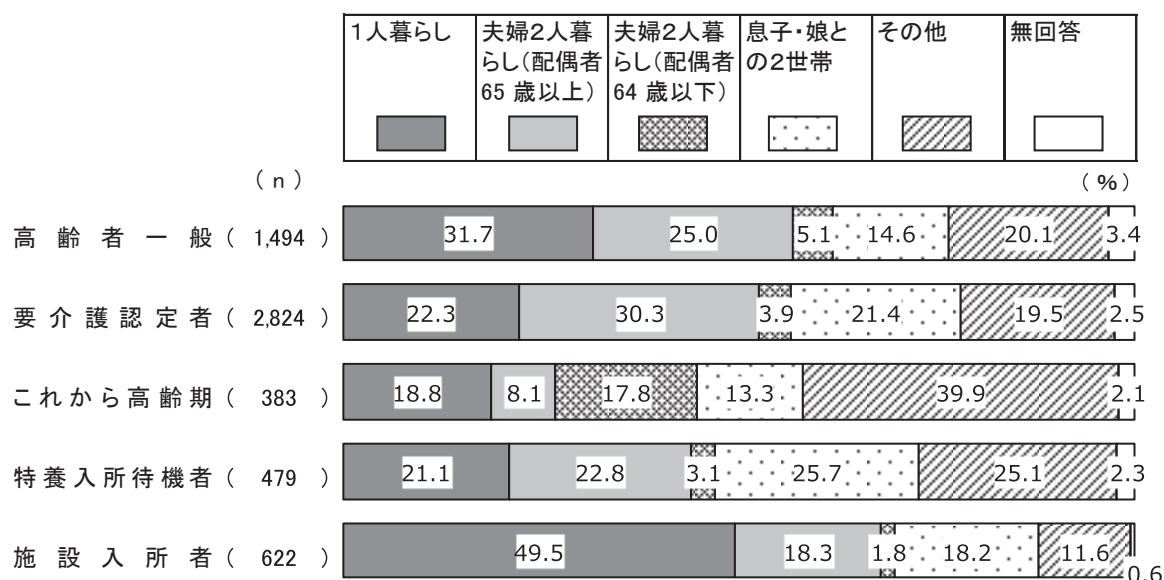


(5) 世帯の状況

① 世帯構成

- 高齢者一般では、「1人暮らし」が31.7%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が25.0%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が5.1%、「息子・娘との2世帯」が14.6%であった。
- 要介護認定者では、「1人暮らし」が22.3%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が30.3%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が3.9%、「息子・娘との2世帯」が21.4%であった。
- これから高齢期では、「1人暮らし」が18.8%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が8.1%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が17.8%、「息子・娘との2世帯」が13.3%であった。
- 特養入所待機者では、「1人暮らし」が21.1%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が22.8%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が3.1%、「息子・娘との2世帯」が25.7%であった。
- 施設入所者の入所前の世帯構成は、「1人暮らし」が49.5%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が18.3%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が1.8%、「息子・娘との2世帯」が18.2%であった。

■世帯構成 《ニーズ調査》



【高齢者一般】 【要介護認定者】

- 年代別にみると、高齢者一般、要介護認定者ともに『前期高齢者』は子どもが「いない」が2割超で、『後期高齢者』と比べて高い。

■子どもの有無

<高齢者一般：年代別>

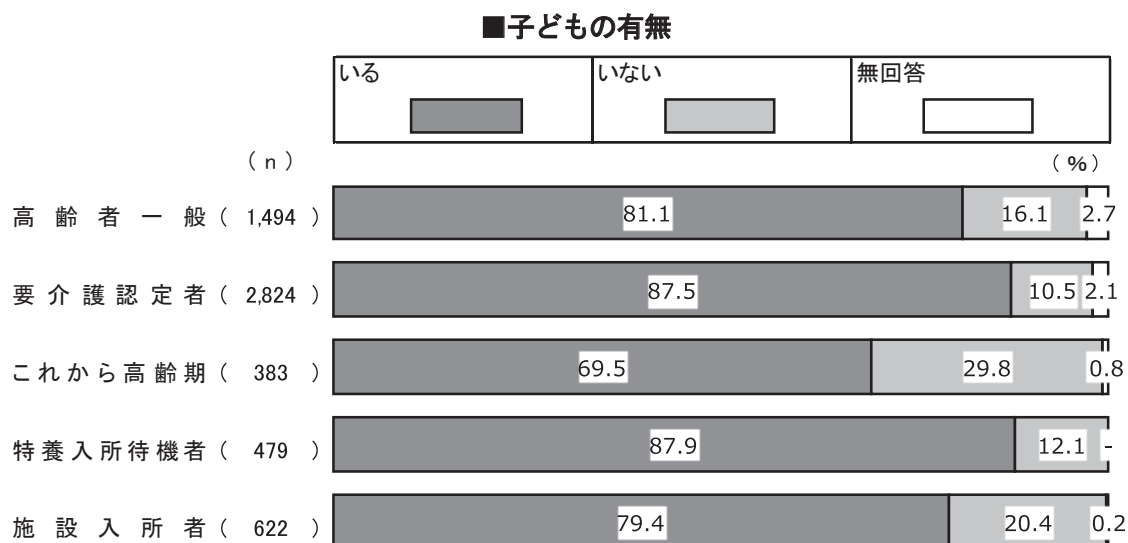
		(%)		
	n	いる	いない	無回答
高齢者一般	1,494	81.1	16.1	2.7
前期高齢者(65-74歳)	661	77.8	22.2	-
後期高齢者(75歳以上)	771	88.2	11.5	0.3

<要介護認定者：年代別>

		(%)		
	n	いる	いない	無回答
要介護認定者	2,824	87.5	10.5	2.1
前期高齢者(65-74歳)	401	78.1	21.7	0.2
後期高齢者(75歳以上)	2,328	90.8	8.8	0.4

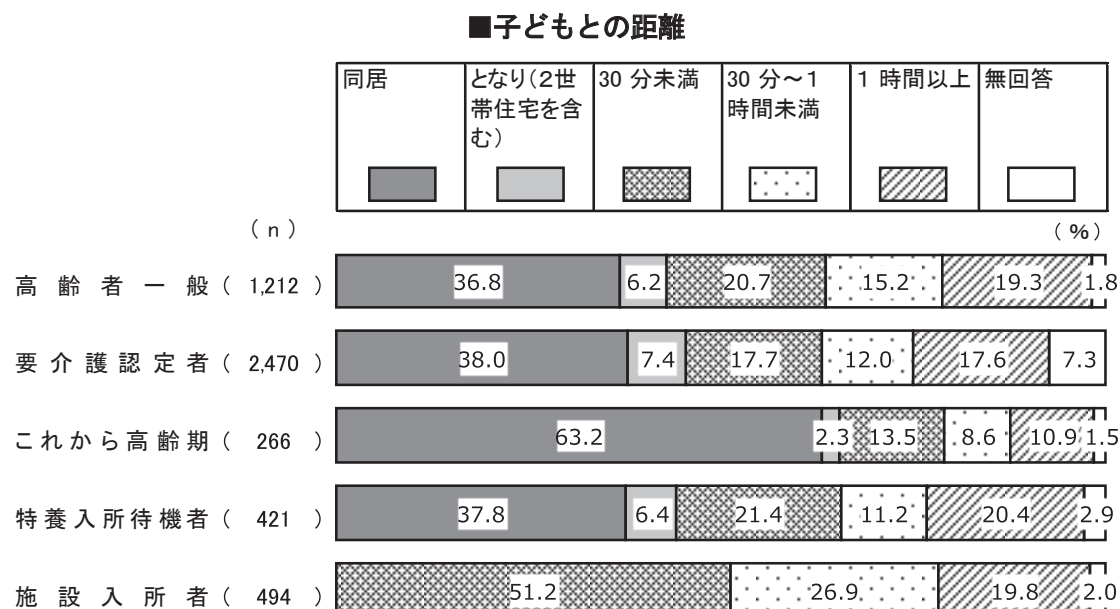
② 子どもの有無

- 高齢者一般、要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者では「いる」が約8～9割となっている。
○これから高齢期では、「いない」が約3割となっている。



③ 子どもとの距離

- 子どもが「いる」と回答した人の最も日頃よく行き来している子どもの家は、高齢者一般、要介護認定者、特養入所待機者で「同居」がそれぞれ3割半ばから4割近くで最も高く、「同居」と「となり」「30分未満」を合わせた“30分未満”が6割超となっている。「1時間以上」はそれぞれ約2割となっている。
○これから高齢期では、「同居」が63.2%で最も高い。
○施設入所者では、「30分未満」が51.2%で最も高い。



※ 施設入所者は、「同居」「となり(2世帯住宅を含む)」は聞いていない

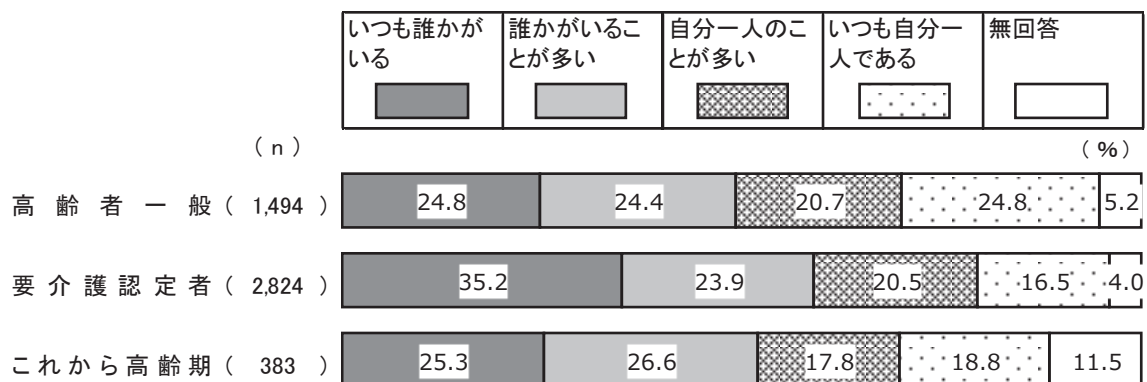
④ 日中独居の状況

○高齢者一般では、「いつも自分一人である」（24.8%）と「自分一人のことが多い」（20.7%）と合わせた、“日中独居”は4割半ばとなっている。

○要介護認定者では、「いつも誰かがいる」が35.2%で最も高い。“日中独居”は4割近くとなっている。

○これから高齢期では、“日中独居”は3割半ばとなっている。

■日中独居の状況

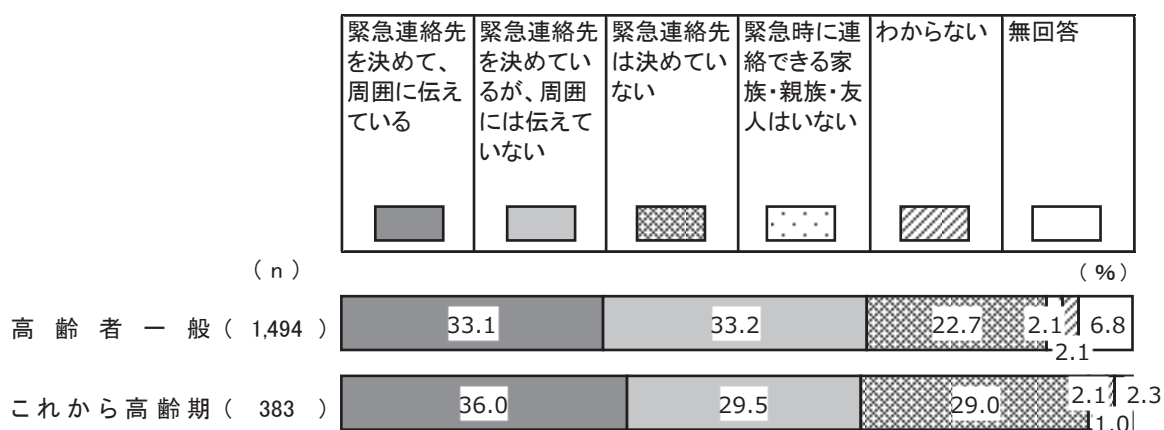


⑤ 緊急連絡先の有無

○高齢者一般では、「緊急連絡先を決めて、周囲に伝えている」が33.1%、「緊急連絡先を決めているが、周囲には伝えていない」が33.2%となっている。「緊急連絡先は決めていない」は2割超となっている。

○これから高齢期では、「緊急連絡先を決めて、周囲に伝えている」が36.0%、「緊急連絡先を決めているが、周囲には伝えていない」が29.5%となっている。「緊急連絡先は決めていない」は約3割となっている。

■緊急連絡先の有無

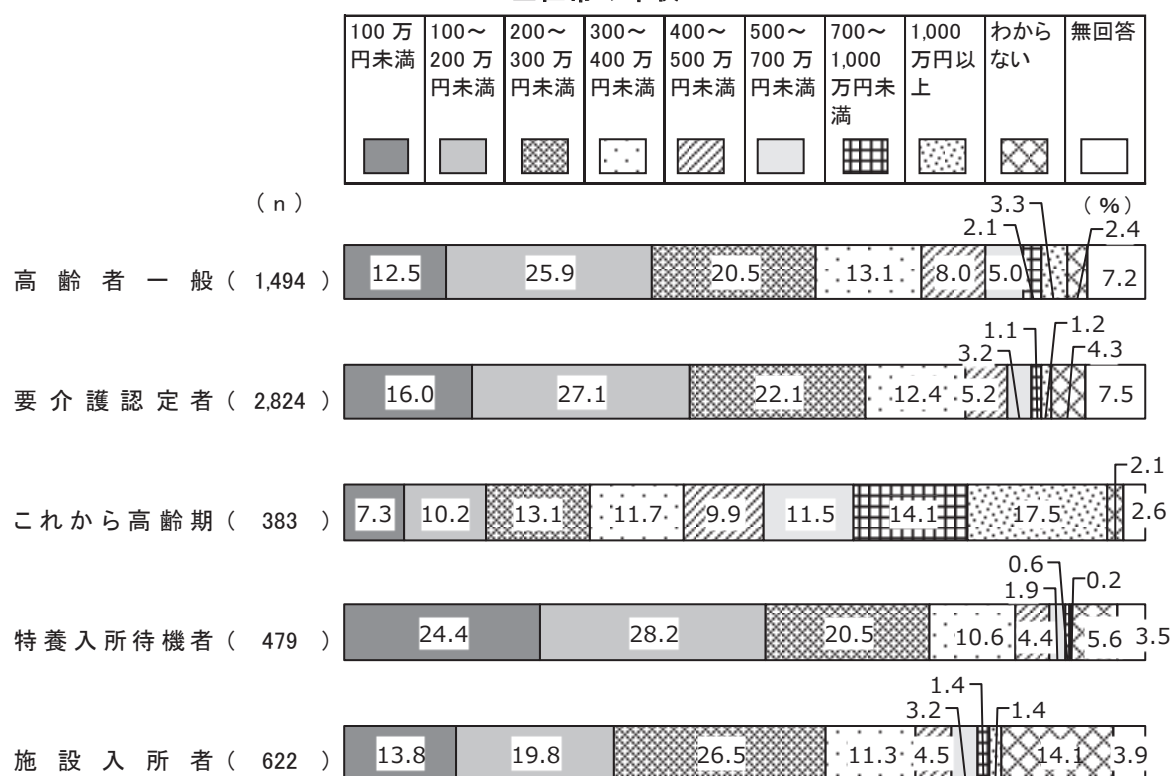


(6) 暮らし向き

① 世帯の年収

- 高齢者一般、要介護認定者では、「100～200 万円未満」が最も高く、それぞれ 25.9%、27.1%となっている。「300 万円未満」（「100 万円未満」～「200～300 万円未満」の合計）が約 6 割～6 割半ばとなっている。
- これから高齢期では、「300 万円以上」（「300～400 万円未満」～「1,000 万円以上」の合計）が 6 割半ばとなっている。
- 特養入所待機者では、「100 万円未満」が 24.4%と他の対象者よりも高く、「300 万円未満」が 7 割超となっている。
- 施設入所者では、「300 万円未満」が約 6 割となっている。

■世帯の年収



【高齢者一般】

- 経済状況別にみると、『苦しい・大変苦しい』では「200 万円未満」（「100 万円未満」と「100～200 万円未満」の合計）が約 6 割、『ややゆとりがある・ゆとりがある』では「500 万円以上」（「500～700 万円未満」～「1,000 万円以上」の合計）が 4 割半ばとなっている。

■世帯の年収＜高齢者一般：経済状況別＞

		万 1 円 0 未満	万 2 1 円 0 0 未満	万 3 2 円 0 0 未満	万 4 3 円 0 0 未満	万 5 4 円 0 0 未満	万 7 5 円 0 0 未満	万 1 7 円 0 0 以上	万 1 円 0 0 以上	わ かり ない	無 回 答
	n										
高齢者一般	1,494	12.5	25.9	20.5	13.1	8.0	5.0	2.1	3.3	2.4	7.2
苦しい・大変苦しい	541	21.6	37.5	20.0	7.9	3.7	0.9	0.2	0.2	2.6	5.4
ふつう	747	8.4	23.6	24.6	16.6	9.8	6.4	1.6	2.4	2.7	3.9
ややゆとりがある・ゆとりがある	150	2.0	4.0	8.7	18.7	18.0	14.0	12.0	20.0	1.3	1.3

【要介護認定者】

○経済状況別にみると、『苦しい・大変苦しい』では“200 万円未満”が6割超、『ややゆとりがある・ゆとりがある』では“500 万円以上”が約3割となっている。

■世帯の年収＜要介護認定者：経済状況別＞

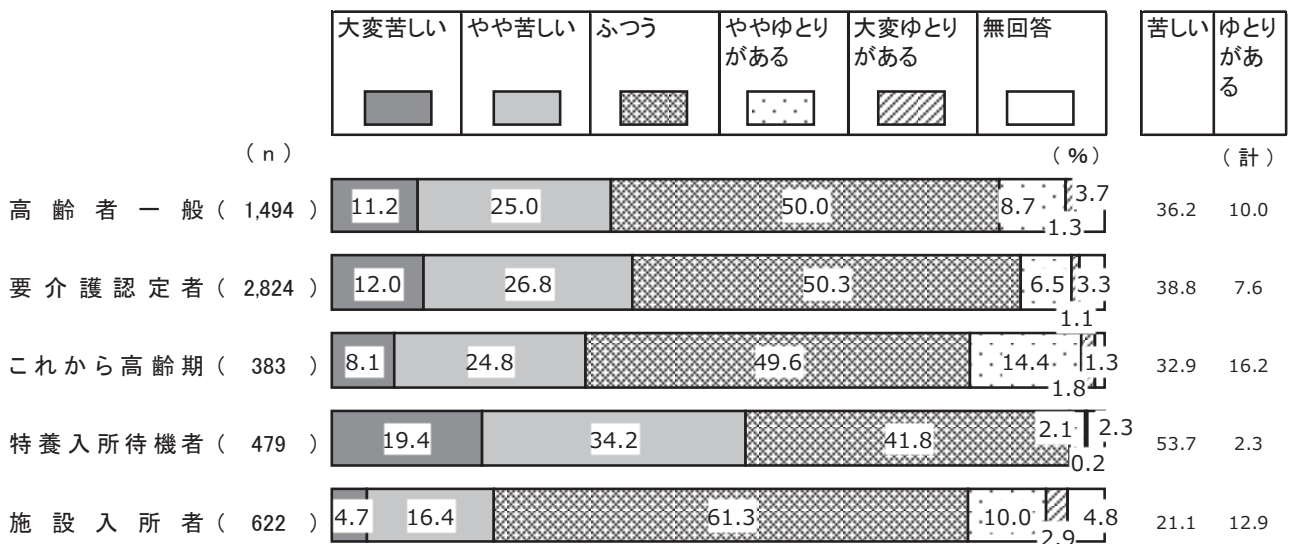
		万 1 円 0 未 0 満	万 2 1 円 0 0 未 0 0 満	万 3 2 円 0 0 未 0 0 満	万 4 3 円 0 0 未 0 0 満	万 5 4 円 0 0 未 0 0 満	万 7 5 円 0 0 未 0 0 満	万 1 7 円 , 0 未 0 0 満 0 5 0	万 1 円 , 以 0 上 0 0	わ か ら な い	無 回 答
	n										
要介護認定者	2,824	16.0	27.1	22.1	12.4	5.2	3.2	1.1	1.2	4.3	7.5
苦しい・大変苦しい	1,097	25.3	36.3	19.5	6.3	1.9	1.1	0.1	-	5.0	4.6
ふつう	1,420	11.2	24.0	26.2	17.0	7.0	3.4	1.2	0.8	3.7	5.6
ややゆとりがある・ゆとりがある	214	3.3	9.8	17.3	16.8	12.1	13.6	6.5	10.7	6.1	3.7

② 暮らし向きの感じ方

○「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた“苦しい”と回答した人は、高齢者一般が36.2%、要介護認定者が38.8%、これから高齢期が32.9%、特養入所待機者が53.7%、施設入所者が21.1%となっている。

○いずれの調査においても「ふつう」が最も高く、約4～6割超となっている。

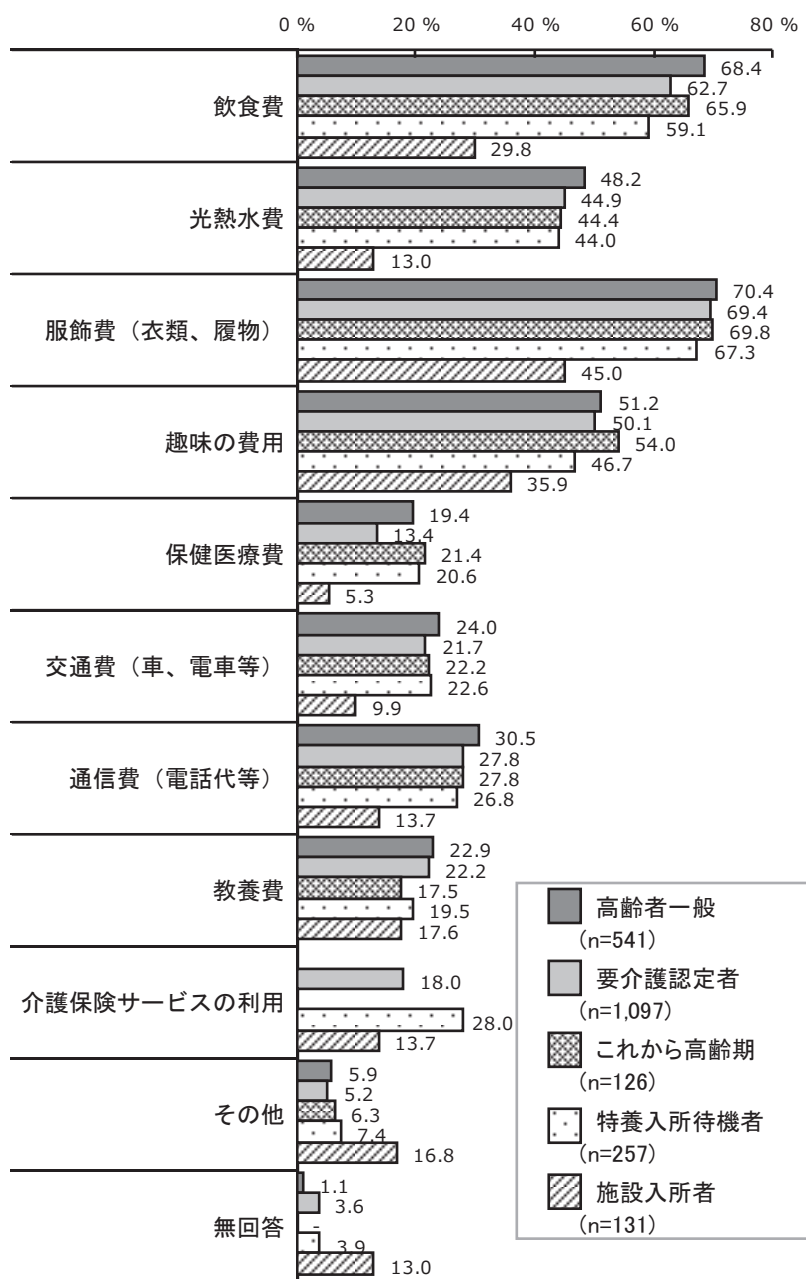
■暮らし向きの感じ方 《ニーズ調査》



③ 暮らし向きが苦しい場合に節約するもの

○ “苦しい”と回答した人が節約するものは、いずれの調査においても、「服飾費」が最も高く、高齢者一般、要介護認定者、これから高齢期、特養入所待機者では約7割となっている。高齢者一般、要介護認定者、これから高齢期、特養入所待機者では、次いで「飲食費」「趣味の費用」「光熱水費」と続いている。

■暮らし向きが苦しい場合に節約するもの（複数回答）



※ 高齢者一般、これから高齢期では、「介護保険サービスの利用」は聞いていない